

Informatica Persistent Data Masking

メリット

- データ侵害リスクを低減
- 開発、テスト、トレーニングの品質を向上
- テストデータ管理を簡素化
- データプライバシーコンプライアンスをサポート

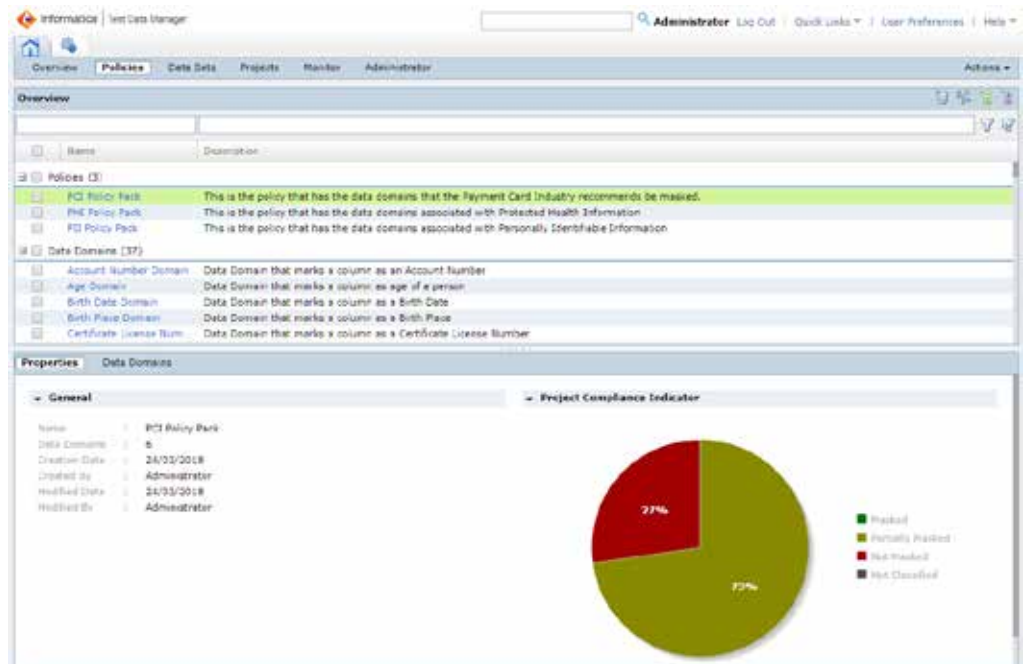
機密データをマスキングして不正アクセスのリスクを抑える

Informatica Persistent Data Maskingは、拡張性に優れたデータマスキングソフトウェアです。機密データのプライバシー、セキュリティ、コンプライアンスを脅かす恐れがある情報を匿名化および暗号化することで、セキュリティを確保した安全なデータコピーを作成できます。これらのコピーは、テストや調査、アナリティクス、他の非運用環境で活用できます。

また、不正な閲覧を防止することでクレジットカード情報や社会保障番号、氏名、住所、電話番号などの機密データを保護するだけでなく、優れた拡張性と堅牢性、さらにさまざまな既存のデータベース、Apache Hadoop、クラウド環境との接続性も提供します。

Informatica Persistent Data Maskingは、単一の監査証跡を使用する一貫したデータマスキングポリシーを企業全体に提供するので、ユーザーは包括的な監査ログやレポートを通して機密データの保護プロセスを追跡できます。また、マスキングルールを実際に適用する前にシミュレーションを実行して、プライバシーポリシーを検証します。さらに、データマスキングルールを定義して再利用することでプライバシーポリシーを遵守するとともに、インプレース/インストリームマスキングによって短時間で結果を提供します。

データベースやプラットフォーム、場所に関係なく、Informatica Persistent Data Maskingは運用データから作成したテスト、アナリティクス、開発環境用のデータセットをマスキングすることで、不正なデータアクセスのリスクを最低限に抑えます。また高度でありながら柔軟性に優れたマスキングルールによって、IT部門はテストやトレーニング、その他の非運用環境で使用するさまざまなデータに、異なるタイプのマスキング手法を適用できます。



Informatica Persistent Data Maskingでは、特定のタイプの機密データをマスキングするためのポリシーを定義できます。

Informatica Persistent Data Maskingは、クレジットカード番号、社会保障番号、口座番号、財務情報を対象とした置換、ぼかし、キーマスキング、他の特別な手法を含む堅牢なマスキングアルゴリズムを採用しており、IT部門やセキュリティ部門は値を匿名化するための構造的なルールを保持することが可能です。

主な機能

拡張性に優れた単一のデータマスキング環境

マスキングプロセスを作成して、大量のデータ処理が可能な単一の高パフォーマンス環境で一元管理できます。Informatica Intelligent Data Platform[®]の拡張性と堅牢性、エンタープライズ規模の接続性を利用して、さまざまなデータベース（Oracle、DB2、SQLサーバー、Sybase、Teradata）、プラットフォーム（Windows、UNIX/Linux、z/OS、Hadoop）、場所にある機密データをマスキングできます。

堅牢なデータマスキングと暗号化のサポート

クレジットカード番号、社会保障番号、口座番号、財務データを対象とした、置換、ぼかし、シーケンシャル、無作為化、無効化、その他の特殊技術などのマスキングアルゴリズムにより、値を匿名化するための構造的なルールを保持できます。運用環境の情報を、あらかじめパッケージ化した現実的なデータセットまたはユーザー定義のデータセットに置き換えることが可能です。暗号化は、NIST標準のフォーマット保持暗号化（FPE）トランスフォーメーションによって提供され、例えばEU一般データ保護規則（GDPR）などのプライバシー保護の要件（データの偽名化など）やアナリティクスのニーズに応える、可逆的マスキングをサポートしています。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性を高め、新たな成長機会を実現するだけでなく、新たなイノベーションを生み出すことさえ可能にする将来への洞察を提供します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要な汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

幅広い接続性とカスタム開発アプリケーション対応

マスキングアルゴリズムは、あらゆる形式のすべての機密データへ迅速に適用できます。Oracle、IBM DB2、Microsoft SQLサーバー、IMS、VSAM、JD Edwards、Baanなど、幅広いデータベース、メインフレーム、業務アプリケーションにアクセスしてマスキングすることが可能です。すべてのエンタープライズシステムで使用できるデータマスキングルールと標準を作成できます。

主なメリット

不正アクセスのリスクを低減

単一の監査証跡を使用し、エンタープライズ環境全体に適用する一貫したマスキングポリシーを定義することで、全社を通じたデータ侵害のリスクが劇的に低減します。データベース管理者はデータを実際にマスキングする前にマスキングのポリシーとルールをプレビューできます。Informatica Data Maskingによって、プライバシーポリシーの保守と管理が簡単になります。

テストおよびアナリティクスの環境のセキュリティを強化

アプリケーションの機密データをマスキングして、非運用システムへ安全に複製することができます。元の情報の特性やデータの整合性および参照整合性は、そのまま維持することが可能です。現実的でありながら識別できないデータを使用することでテストデータの質が高まり、より優れた開発、テスト、トレーニングを実施できるようになります。

データプライバシーに関する義務と規制へのコンプライアンスをサポート

現実的でありながら対象を特定できないデータや偽名化したデータへのアクセスを提供することで、IT部門はGDPR、HIPAA、PCI DSS、GLBAなどのプライバシーに関する規制や、データガバナンスポリシーに準拠することができます。

